

氏名： 上野 未央 (UENO Mio)
所属： 教育研究特設センター コミュニケーション・システムの開発によるリスク社会への対応
職名： アソシエイトフェロー
学位： 博士 (人文科学) お茶の水女子大学 / Ph. D (History) Ochanomizu University
専門分野： イギリス史
E-mail： ueno.mio@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

西欧中世史 / ロンドン史 / 世俗文化 / 音楽家
Medieval European History / History of London / Secular Culture / Musicians

◆主要業績

- ・論文「中世後期～近世初期イングランドの俗語歌謡一写本群の分析から」『人間文化創成科学論叢』2009 年 3 月
- ・口頭報告「15 世紀イングランドの入市式」比較都市史研究会、2009 年 1 月

◆研究内容 / Research Pursuits

2008 年度には、中世後期から近世初期イングランドの俗語歌謡、キャロルを収めた写本群の特徴をまとめた論文を発表した。キャロルが書写された背景、書記、写本の所有者などに着目して、写本群全般の特徴を明確化し、近世にかけての変化を跡付けた。また、ロンドンで世俗向け音楽に携わった芸人・音楽家に関する研究も引き続き行った。

My research during the academic year 2008 focused on the changes of carol manuscripts from fourteenth to sixteenth century England. This work "A Survey on English Carol Manuscripts" has been published in the Journal of the Graduate School of Humanities and Sciences.

Also, I have been exploring the activities and social status of musicians in late Medieval London.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部学生を対象に、「英語でよむ歴史」という授業を担当した。ロンドン大学の学部生向け授業で実際に使われた西欧中世史の教科書を利用し、英語の背景にあるイギリス人の考え方について学んだ。また、教科書には、現代英語に翻訳された史料が掲載されており、史料に触れることができた。

The “History in English” undergraduate class that I taught utilised a textbook used in University of London, and explored arising historical themes and issues in greater detail. Students also enjoyed reading historical documents in English.

◆研究計画

イングランドの中世末期から近世初期を取り上げ、政治的・宗教的変動の時代に、俗人が親しんだ文化はどのような変容を遂げたのかということを、音楽家や、俗語歌謡の分析を通じて明らかにしていきたい。